

「地域密着型金融」の取組み状況について

当行は、「地域との共生」を主眼に、これまでの地域密着型金融への取組みをさらに進めるべく、以下の3分野について積極的に取り組んでまいりました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

具体的な取組みとしては、

【産学官連携】

昨年12月、「ビジネス・エンカレッジ・フェア2011～東日本大震災からの復興 今、日本の力を一つに～」を開催しました。今回は、東日本大震災からの復興をテーマに東北経済界や東北地銀にもご参加をいただき、当行取引先や関係機関からの出展団体115団体、6,200名の皆さまにご来場いただきました。

優秀なビジネスプランを応援する「ニュービジネス助成金」、産学官連携による中小企業の事業多角化や第二創業を応援する「コンソーシアム研究開発助成金」は、創設以来の応募累計約1,700件、助成金総額は3億円を超える規模となりました。



【地元自治体との連携】

昨年3月の堺市にはじまり、伊丹市・箕面市・岸和田市・豊中市・川西市・池田市・吹田市・摂津市・和泉市の合計10市と「産業（地域）振興連携協力に関する協定」を締結するとともに、「産業振興ファンド」を創設。商工会議所とも連携を図り、地域の活性化とお客さまサービスの向上に努めてまいりました。



ニュービジネス助成金 表彰式

【関西の主要な大学との連携】

昨年5月に和歌山大学、8月に兵庫県立大学と「産学連携基本協定」を締結。これまでに協定を締結した大学は合計で11大学となりました。こうした取り組みは、産業、学術研究、人材育成、まちづくりなどの分野において、相互の人的・知的資源の交流・活性化を図り、相互に有意義と認められる諸事業を行うことにより、地域社会の発展に資することを目的としております。



イメージキャラクターも参加、池田市との地域振興連携協定 締結式

【内外金融機関等との連携】

昨年7月には、国際協力銀行と「業務協力協定」を締結し、海外投資環境等に関する情報交換、セミナーの共同開催等を行っております。また、物流大手の日本通運と「業務協力協定」を締結し、当行お取引先の中国での通販ビジネスの支援、物流業務及び関連事業のノウハウ提供等に努めております。

9月には、中国の大手三銀行（中国工商銀行・中国銀行・交通銀行）とも連携を強化し、スタンバイLCを活用した現地での資金調達ニーズへの対応や人民元決済業務のサービス拡充に取り組んでおります。

12月には、(独)日本貿易保険、東京海上日動火災保険と業務提携し、海外における情報提供力強化、お取引先の様々なニーズ（貿易保険・リスクコンサルティング）への対応力強化を図っております。



(独)日本貿易保険との業務提携 締結式

【新商品・サービス】

環境格付融資制度は、中小企業から中堅企業、大企業まで幅広いお客さまに対して、CO2排出量削減のための新たな設備投資や身近なコスト削減のための取組みなど、環境に配慮した取組みを当行が評価し格付付与の上、格付に応じた金利優遇を実施する融資制度です。

当行は、これからも、「地域のため、地域のお客様のお役に立つ」ことを念頭に、地域力を高め、地域社会の活性化へ貢献できるよう、役職員一同、総力をあげて取組み、「地域からのご支持No.1」のご評価をいただける銀行を目指してまいります。